

==



==

== 全中連NET通信

==

∞∞∞ 2024.5.30 ∞∞

==

全国中小企業団体連合会（全中連）

==

〒102-0093

==

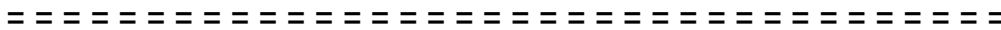
東京都千代田区平河町 1-5-3 大和屋第 2 ビル

==

TEL : 03-3262-2001 FAX : 03-3262-2054

==

e-mail : zen01@yacht.ocn.ne.jp



《目 次》

第 3 回ブロック代表者会議開催される	2
吉田会長のブロック代表者会議冒頭での挨拶	2
最近の主な動き	4
今後の主な日程	4

第3回ブロック代表者会議開催される

第3回ブロック代表者会議が5月21日にZoomにて開催されました。

はじめに吉田忠智会長から挨拶がありました。(下段に内容を掲載)

続いて報告事項として、第37回中小企業問題研究集会の報告、各ブロックでの活動についての報告などがありました。北海道商工連盟は創立50周年を迎えるため、記念レセプションの開催を予定しているとの報告がありました。近畿ブロックからは奈良県中連が専従職員の高齢化や病気などのため6月で組織を解散することになったとの報告がありました。

その後、協議事項にはいり、昨年度の活動報告と決算報告について説明があり、続いて活動方針案について意見が交わされました。専従者の交流の機会が中研集会ぐらいいかなくなってきたので、以前やっていた専従者が講師や座長を担当する講座をやるなど、もっと交流を深めることのできるような研修会の提案がありました。今年の中研集会については、全国から集まることのできる唯一の機会であるため、東京以外での開催も含め検討していくこととしました。

ブロック活動やブロック間交流と情報交換のあり方については、ブロック研修会へ他のブロックからも参加することについても、まだ交流の規模が小さいけれど積極的に参加したいとの意見が出されました。また技能実習制度に代わり新たに創設される「育成就労制度」については、人手不足の中小企業において、外国人労働力の需要はますます高くなりそうなので、導入を考えている単協などのため、新しい制度の研究もしていくべきだ、との意見も出されました。

予算案については、あらためて現状の会員数をもとに予算を見直して作成することとしました。

また、政策要望については、政党との関係では、こちらから政党に要請するだけでなく、政党からも政策提言を求めて、互いに政策内容を詰めていくようにしていくべきとの意見が出されました。

地方の経済実態に合わない最低賃金の問題や、カスタマーハラスメントの条例化、それにともなう元請と下請けの適切な関係をどうすべきかについても意見が交わされました。

これらの議論をもとに次回の会議までに活動方針と要望書をまとめていくこととなりました。



吉田会長の会議冒頭での挨拶

日頃、厳しい状況にある中小企業のご支援や全中連の活動にご協力いただいている皆様に、全中連を代表して感謝申し上げます。

私の近況ですが、昨年4月に参議院補欠選挙で惜敗し、立憲民主党の大分県連の代表を務めながら、来年7月の次の参議院選挙へ向けての対応を関係者と協議してきましたが、2月27日の立憲民主党全国連合の常任幹事会で大分選挙区からの公認の内定をいただきました。当面は、まずは衆議院

選挙があると思われまので、それに全力を挙げて取り組みながら、来年の参議院選挙に備えたいと思います。

私が急遽国会からいなくなりましたので、皆様方にはご不便をおかけしております。

そうしたなかで、政治状況としては6月23日の通常国会の会期末を睨みながら、自民党の派閥によるパーティー券のキックバック、裏金問題が大変深刻な政治課題になっておりまして、国民の不信が増大しております。自民党や内閣の支持率もかつてない厳しい状況におかれております。4月28日投開票が行われました長崎3区、島根1区、東京15区の補欠選挙におきましては、国民民主党、社民党の協力もあり立憲民主党公認候補が3議席とも当選を果たしました。ただこれは、「敵失」による要素が大きいものです。

衆議院の政治改革特別委員会で、抜本改革に向けた政治資金規正法改正案などが、自民党をはじめ、立憲民主党も国民民主党と共同で提出いたしました。これから詰めの議論に入っていくことになります。ただ、内容を見ますと自民党の案は極めて中途半端で、一体これまでの反省がどこにあるのか、この政治資金、パーティーの問題がこれほど国民の皆さんに不満や不信を招いている、そういう自覚が足りないのではないかと。説明責任も不十分であると思います。こうした問題の再発防止へ向けた抜本策、有効策が出されていない状況であります。ただ与野党案では隔たりが大きく、果たしてまとまるのかどうか。

状況によりませんが、常識的には岸田政権も自民党も厳しいですから、この通常国会においての解散総選挙はないのではないかとというのが大方の見方ですが、岸田総理は何をするかわかりません。9月の自民党の総裁選挙で再選されることが、彼の最大の政治目標だと思いますので、通常国会中に衆議院解散の可能性もあるのではないかと、もしできなければ9月の自民党総裁選挙で、岸田総理が今の状況で再選されることは極めて厳しいと思いますが、たとえば何人か名前を出ている他の方が、自民党総裁、そして総理大臣になった時にはどうなるかわかりません。その前に、自民党総裁選挙で、毎回よくやるテレビジャックで国民の関心を惹きつけて、そして新たな総理大臣のもので解散、総選挙に打って出て、疑似政権交代というようなかたちで選挙に臨むのではないかとされます。

これまでさまざまなトラブルや不祥事があっても、国民はそういうことも忘れて自民党、公明党を支持して政権が存続するといったことがありましたが、さすがに今回のパーティー券の裏金問題については、国民はそう簡単に忘れたいと思いませんし、忘れてもらっては困ると思っております。

日本の政治の問題点は大きく二つあり、一つは選挙の投票率が低いこと。これは主権者教育の問題もありますし、投票に行きたくなるような政治課題を選挙時に提示できていないことです。二つめは、世界の民主主義国では、当たり前前に政権交代が行われているのですが、日本ではそれが無いという政治状況を、変えていかなければならないということです。簡単なことではありませんが、そのための闘いが来たるべき衆議院選挙なのです。全中連とともに活動している諸政党と、がっちりスクラムを組んで共闘、協力をしながら来たるべき衆議院選挙で政権交代をぜひ成し遂げて、政治を変えていく、政治を国民の皆さんの手に取り戻していく、そうした闘いをしっかり進めていきたいと考えています。皆様方の衆議院選挙へ向けた特段のご理解とご協力とご支援を、お願い申し上げたいと思います。

中小企業を巡る状況は皆様のご存じの通りでございますが、ゼロゼロ融資の返済も始まっております。この間の異常な円安は中小企業の経営を圧迫しております。また今春闘でも5.58%という例年にない引き上げがなされています。しかし、中小企業の皆さんは人材を確保するために、やむを得

ず賃金を引き上げているという企業も多いわけで、こうしたことが経営を圧迫している状況にもなっております。

昨年10月から始まったインボイス制度も中小企業の事務負担を重くしております。また、昨年提出した要望書にもありますが、ふるさと納税につきまして、私も総務委員会や内閣委員会におりましたときに、総務大臣に問題を指摘してきましたが、いまやこれがビジネスとなっており、地方財政そのものを歪める制度になっております。ただ現実の問題として、ふるさと納税の税収で子供の学校給食費の無償化や、高校までの医療費の無償化などの財源に充てているところ、またふるさと納税返礼品ビジネスなどで潤っているところもありまして、ことはそう簡単ではありませんが、いずれにせよ見直しは不可避でございますので、時宜を得た要望事項だと思っております。

全中連として活発な議論を通じて取組みへの意思統一をしていただき、皆様方の今後のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げたいと思います。

◎最近の主な動き

- 4月 14日 全中連会計監査〔川崎〕
- 4月 25日 近畿ブロック協議会幹事会〔大阪〕
- 5月 21日 第3回ブロック代表者会議〔Zoom〕

◎今後の主な日程

- 6月 13日 第4回ブロック代表者会議〔Zoom〕
※都道府県中連の代表者は視聴参加できますので希望者は全中連までご連絡ください
- 6月 27日 北海道商工連盟定期総会、同協同組合通常総会〔札幌〕
- 7月 12日 九中連定期総会〔熊本〕（日程・場所が変更となりました）